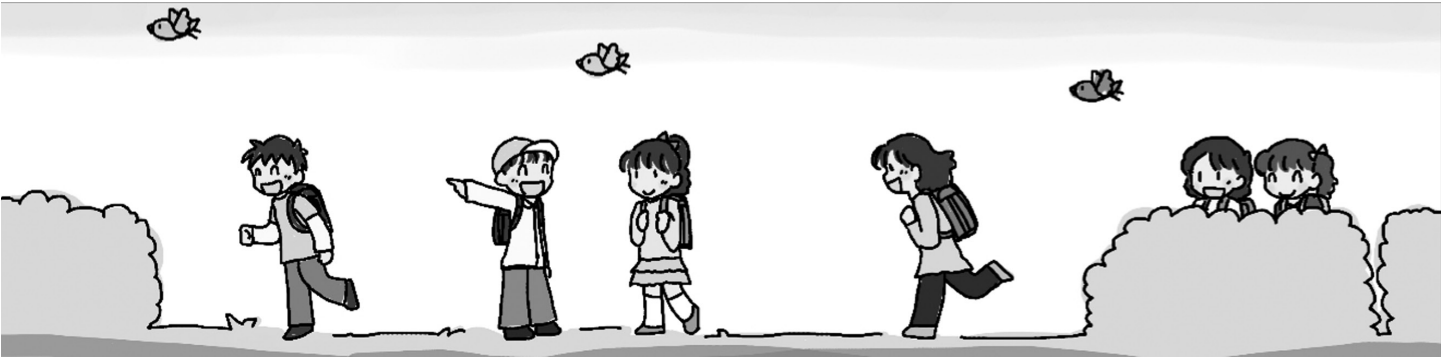


■根雨小学校（抜粋）

評価項目	具体項目	目標の達成状況	自己評価
学力の向上	指導法の改善	●発達段階に応じて、記録、要約、説明、論述などの言語活動を重視した授業を行っている。 ●算数については、3年生以上の学年でティームティーチング指導や、少人数指導を行い、個に応じた指導に努めた。 ●「授業が楽しい」「先生が分かりやすく教えてくれる」と答える児童が98％いる。 ●学習障害（LD）等、通級指導など、専門機関と連携し支援を要する児童のスキルの向上が図れた。	B
	学習規律の定着	●授業中、姿勢よく話を聞ける児童が増えてきた。90％の児童が「友達や先生の話をよく聞いている」と答えている。 ●算数を中心に、ノートの使い方の指導を進め、「自分の考えを工夫して書いている」と答える児童が、昨年より10％近く増えている。	B
豊かな人間性の育成	人権教育・特別支援教育の推進	●全職員で児童の良さを誉め、肯定的な評価を行うように努めた。 ●「学校が楽しい」「困った時に話ができる友達がいる」「周りの人の気持ちを考えながら生活している」と答えた児童が昨年よりも増え、90％近くいる。	B
	豊かな体験活動の推進	●「友達と協力して活動するのは楽しい」と95％の児童が答えている。 ●「米作り」「林間学校」「カヌー教室」「木のおもちゃづくり」など、豊かな体験活動を推進することができた。 ●月1回の色別遊びを児童は楽しみにしており、縦割り活動で、児童相互のコミュニケーションが図られている。	A
家庭・地域との連携	基本的生活習慣の定着	●80％の児童が「学校のきまりや約束が守れている」と答えている。 ●88％の児童が「友達や先生、大人の人に自分からあいさつをする」と答えている。 ●「テレビやゲームの時間を決めて守れている」と答えた児童は、昨年より20％近く増えている。	B
	家庭学習の定着	●月初めの10日間を『べんきょうがんばりの10日間』と決め、家庭学習がんばりカードを全校統一して継続し取り組んだ。80％の児童、保護者が「忘れずに取り組んでいる」と答えている。	B
	地域との連携	●「地域行事に参加している」と答えた児童は75％おり、全く参加していない児童の数は、昨年より減少している。 ●「もちつき大会」には、多くの地域の人に参加していただいた。 ●ホームページ、PTA広報、学校だよりなどで、情報発信に努めた。 ●委員会や各学年の総合学習で、福祉施設などの交流を数多く実施することができた。 ●「敬老のはがき」を直接手渡し、地域の高齢者と触れ合いを図っていくようにした。	A

学校評価（根雨小学校）



■日野中学校（抜粋）

評価項目	具体項目	目標の達成状況	自己評価
学力向上	授業改善	●全国学力学習状況調査（3年）や標準学力調査（1・2年）の結果を各教科で分析し、保小中一貫教育教科部会で東京書籍の人のアドバイスを受け、その結果を念頭に日頃の授業を行うようにした。 ●エキスパート教員の公開授業・研修会に参加し、研究を深めた。	B
	基礎基本の徹底	●1年生は全教科、2年生は国語、社会、体育を除く6教科、3年生は理科を除く8教科でティームティーチングを実施することができた。 ●テスト前勉強会、夏季休業中勉強会は、目的意識を持って学習ができた。	A
	学習規律の定着	●本年度の努力点「凡事徹底」は、教師の自己評価では「良かった」と「普通」で86点であった。しかしながら、「チャイムが鳴るまでに授業の準備をして座って待つ」などのいくつかの項目は守られていないことがあり、今後に課題を残した。	B
	家庭学習の習慣化	●家庭学習強化月間の集計では、全校生徒の家庭学習の平均時間は5月と10月が共に1時間34分、2月は微増の1時間36分で、年間を通して目標は達成できた。	B
心力向上	学級活動の充実	●「弱い立場にある生徒への働きかけ」に対する教員の評価は、「良かった」が30点、「普通」が70点と、昨年よりは改善がみられた。 ●学級の雰囲気に対する保護者のアンケートでは、81点が肯定的な評価であるが、「改善して欲しい」が19点と、昨年と比べると「改善して欲しい」が18ポイント増加した。	B
	道徳教育の充実	●「日常の生活を通して、豊かな人権感覚は育っていたか」に対する教員の評価は、「良かった」が8点、「普通」が84点、「改善して欲しい」が8点で、昨年度と変わらない結果であった。 ●道徳教育に対する教員の評価は「良かった」が16点、「普通」が84点で、全員が肯定的にとらえている。	B
	体験活動の重視	●保護者のアンケートでは、体育祭も文化祭も93点の肯定的評価をもらっている。 ●「生徒会活動は活発であったか」に対する教員の評価は、「良かった」が40点、「普通」が60点で、昨年度より大幅な改善がみられる。	A
生徒指導の充実	基本的な生活習慣の定着	●本校の今年度の努力点「生活と学習における凡事徹底」では、教職員の評価では「良かった」が20点、「普通」が67点、「改善すべき」が13点で、生徒は意識して取り組んでいるものの、立腰（りつよう）に努めることなどに課題が残る。	B
	いじめ・不登校生徒の早期発見と適切な対応	●「不登校生徒への関わり方」に対する教員の評価は、「良かった」が27点、「普通」が67点、「改善すべき」が0点であった。昨年と比べると「改善すべき」が減り、担任の負担が多少なりとも緩和した結果が出た。 ●新入生が入学後の7月に小中連絡会を行い、小学校との情報交換ができた。	A
	教育相談の充実	●保護者へのアンケートで「生徒が教師に相談しやすいか」の回答は「良い」と「大変良い」で41点、「改善して欲しい」が19点であった。昨年度は「改善して欲しい」が9点なので、10ポイント増加している。	B
	家庭、関係機関との連携	●わかあゆ教室やスクールカウンセラーとの連携により、不登校傾向の生徒に改善が見られた。	B